

# 日本磁気科学会・磁場発生分科会

## 「強磁場発生の新しい潮流」

(共催：応用物理学会・磁気科学研究会 第3回講演会 協賛：低温工学・超電導学会)

1990年代前半にわが国で開発された伝導冷却式超伝導磁石の普及によって、磁場を用いた研究は著しく進展しました。これに伴い、磁石の使い方は多様化し、磁場強度だけでなく勾配磁場、時間変動磁場など、求められる磁石の仕様もユーザーによって異なってきています。一方で、磁石の開発も進展し、更なる高磁場化に加えて、高磁場と大ボア径、高磁気力、高均一度などとの両立型が登場し、超伝導線として高温超伝導材料を使った磁石なども市販されるようになりました。また、高温超伝導を利用したMRI開発や超伝導リニア新幹線の建設開始が近づくなど、強力磁石の利用がますます広がろうとしています。すなわち、磁気科学関連研究・技術は磁場発生技術の進展とともにあると言っても過言ではありません。そこで、「磁場発生技術」をテーマとして研究会を開催します。磁場発生技術の進展に大きく貢献されている5名の方にお越しいただき、最先端の様々な磁場発生技術に関する話題が提供される予定です。奮ってご参集ください。磁場を利用した研究に新たな広がりをもたらすものと期待しています。

日時：平成26年11月12日(水) 午後1時30分～午後5時35分  
(日本磁気科学会・年会[11/13~11/14]に合わせて開催します。)

場所：高山市民文化会館

(〒506-0053 岐阜県高山市昭和町1丁目188-1)

アクセスにつきましては、日本磁気科学会・年会実行委員会HPをご覧ください。

参加費：無料(両学会非会員でも無料)

### プログラム

13:30~13:35	はじめに	大塚秀幸(物材機構)
13:35~14:20	液体窒素冷却高温超伝導マグネットの開発	西島元(物材機構)
14:20~15:05	DI-BSCCO コイルおよびマグネット	加藤武志(住友電工)
15:05~15:50	超伝導磁気レンズマグネット	松本真治(物材機構)
15:50~16:00	休憩	
16:00~16:45	超電導磁気浮上式鉄道の技術と、鉄道総研における高温超電導材料適用の試み	長嶋賢(鉄道総研)
16:45~17:30	NMRを使った物質・材料研究	清水禎(物材機構)
17:30~17:35	おわりに	堀井滋(京都大学)

### 問い合わせ先

日本磁気科学会・磁場発生分科会

大塚秀幸(物材機構)

TEL:029-863-5518

e-mail: OHTSUKA.Hideyuki@nims.go.jp

応物・磁気科学研究会

堀井滋(京大)

TEL:075-753-4723

e-mail: horii.shigeru.7e@kyoto-u.ac.jp